

令和3年度 第2回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和3年度 第2回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和3年10月19日 午後1時30分から午後3時 分まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学習センター 多目的交流ホール
4	出席者	初谷委員、田守委員、古川委員、樋口委員、小田委員、鈴木(研)委員、小笠原委員、鈴木(健)委員、黒澤委員
5	市側出席者	山下文化課長、遠藤豊科図書館長、金子三郷図書館長、伊藤堀金図書館長、青木明科図書館長、高嶋中央図書館長、奈良澤係長、松下主任、松田主事、上田司書、山崎司書、佐藤司書、三澤司書、太田司書
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1 人
8	会議概要作成年月日	令和3年10月23日

○会議の概要

- 1 開会 (奈良澤係長)
- 2 あいさつ (山下文化課長)
- 3 協議事項
 - (1) 令和3年度安曇野市図書館事業進捗状況について
 - (2) 令和4年度安曇野市図書館事業計画(素案)について
 - (3) その他
- 4 勉強会
- 5 その他
- 8 閉会 (奈良澤係長)

3 協議事項概要

- (1) 令和3年度 安曇野市図書館事業進捗状況について

議 長 協議事項1 令和3年度安曇野市図書館事業進捗状況を事務局よりお願いしたい。

事務局より説明。

議 長 この件について質問、意見があったらお願いしたい。

委 員 一番最後の進捗状況の実施率は年間の数字か。半分いっているということによろしいか。

事務局 年間を通した事業もあるが、開催済みとしてあるのでご理解いただきたい。

委 員 計画に対して遅れているかどうか分ければ良いので結構。

議 長 他に無ければこの件に関してはよろしいか。次に令和4年度安曇野市図書館事業計画(素案)

について、事務局より説明いただきたい。

事務局より説明

議長 この件について質問、意見があったらお願いしたい。

委員 特色ある資料収集計画で2点質問をお願いしたい。基本方針のところに、ニーズに合わせた蔵書構成と書かれているが、図書館側で考えている蔵書構成と市民ニーズがマッチしているか、また、ニーズの把握をどのように考えているか。

議長 1点は、図書館の考えているニーズと市民ニーズに食い違いがあるので、どのようにしていくかということによろしいか。もう1点は何か。

委員 資料ページにある表に書かれている数字の属性を記載してほしい。

委員 今の質問は、現在の協議事項とは違うのではないか。

議長 この質問については、次の協議項目で取り上げさせていただく。事業計画の素案について質問があったらお願いしたい。

委員 推進事業に、複合施設の特長を生かすということと、教育機関、文書館、博物館との提携と記載されているが、該当する事業を具体的に教えていただきたい。

事務局 教育機関との連携は、重点事項にも入っている「調べ学習の支援」があり、また、認定こども園への「配本」もあげられる。高校とは、中央図書館が行っている「りぶサポ」がある。

文書館と博物館については、具体的な事業名は無いが、各施設が開催する事業に合わせて関連資料の展示を行うという連携をしている。他部署についてもキャンペーンとの連携などを考えているが、実際には各事業の開催状況に合わせて対応をしていくことになる。

委員 今の説明はそれなりに意義の有ることかと思うので実施をお願いしたい。その他として、200人が入るホールを生かして、山岳イベントや音楽イベントを開催し、それに合わせた本の紹介などを行うというような面白そうなイベントを提案したいがいかがか。

事務局 機会があれば開催したいと思うが、生涯学習と図書館の事業の持ち方については、精査した方が良いのではないかという課題が出されていることもあるので、市民のニーズに合わせてどんな企画ができるのか考えていきたい。

議長 他にあればお願いしたい。

委員 2点程コメントさせていただく。1点目は以前にも指摘したが、基本理念に誤字があるので訂正してほしい。

もう一つは、推進事業でSDGsの周知と推進を特筆しているが、事業計画の中に周知事業はあるが推進事業が無いように思うがいかがか。

事務局 確かに周知に力を注いでいるので、推進が計画されていない。これからSDGsを学んでいく場があるので、推進について何等かのことを考えていきたい。

委員 SDGsについて何等かの取り組みがあると理解した。いろいろなアイデアや企画をこの第2回の資料にできるだけ網羅していただきたい。この資料では例年回しているような感があり新鮮味がない。来年度の特徴を書いていただくよう希望する。

事務局 昨年度の資料とは変えさせていただいた。内容的にはこれから検討されるものもあり、また、本日の意見を参考に变えていくものもあるので、この時点で正確なものを出すのは難しい。来年度は方針のようなものが良いのかと感じる。

議長 企画案は具体的に知りたいということもあるので、事務局ではこの思いを汲んでいただきたい。他にあればお願いしたい。

委員 9ページの表について、文書館と博物館も加え、安曇野市が持っている情報の質と量が分かりやすくなるようにお願いしたい。

委員 図書館事業計画とは違う話ではないか。

議長 先程の話の続きになるので、後でまとめて回答していただく。他にあればお願いしたい。

委員 実施事業の位置付けは、基本方針があり、推進事業があり、実施事業があるということなので、実施事業の欄に記載されている基本方針の該当番号は、推進事業の番号にした方が分かりやすいのではないか。

事務局 基本方針が推進事業の全てを網羅しているということになるが、検討させていただきたい。

議長 推進事業の番号を実施事業に入れた方が、うまく理解できる気がする。この件についてはこれでよろしいか。その他について事務局からお願いしたい。

事務局 その他として何点かあげさせていただく。先ほどの委員の質問については、この後の勉強会で回答させていただく。

以前の図書館協議会で保留になっていた資料の配置換えについては、開架の都合で分類番号順になっていなかったものを、今回の移動で整理させていただいた。特に0類については図書館学の資料があるので、場所が分かりにくかったものを改善させていただいた。配架場所については、その時々ニーズに合わせて変えていくものと考えている。

同じく前回の協議会の時に令和2年度の図書館概要をホームページにアップすればどうかと意見をいただいたが、9月議会で決算が出たので10月中にはアップさせていただく予定でいる。

議長 今の件について、何かあればお願いしたい。次に、先ほどの、市民のニーズについてと表の見直しについて事務局より回答いただきたい。

事務局 その件については、勉強会の中の資料活用のグループで回答させていただく予定でしたが、簡単に説明させていただく。

特色ある資料収集計画では中央館と分館の役割を定めており、市民ニーズの把握としてはリクエストが主な手段となる。リクエストの情報は反映されるが、偏りがないようにバランスを考えて購入している。

資料収集の表については、図書館で使用している「日本10進分類表」に基づいており、文書館や博物館の分類とは違うので、この表に集約するという事は難しい。但し、デジタル的には検索データが集約されていた方が良いと思うので、考えていかなければいけないことと思う。

議長 よろしいか。他にあればお願いしたい。

委員 特色ある資料収集計画は、どのようなメンバーで作成したかということをお聞きしたい。また、文書管理については改定日など日付を付して管理いただきたいがいかかがか。

事務局 この文書は図書館の内部で作成した内規である。何かあれば見直していきたい。

議長 よろしいか。

委員 内規ということだが、市民ニーズが反映されるように続けてほしい。

議長 見直しは続けていただきたい。他にあればお願いしたい。

委員 この特色ある資料収集計画は、いつ、どこで、誰が決めた事か分からない。その資料の性格とかが分からないと議論がしにくいと思う。

市民ニーズの把握について、リクエストを利用しているという話があったが、一人年間10冊が上限で、前回の会議録にも記載されているリクエスト件数では少なすぎるのではないか。リクエスト上限を撤廃し、もっと広くいろいろな人に出してもらい、予算やバランスを考えて選書をしていくということが良いのではないかと思うがいかかがか。

事務局 まさしく広く出していきたいところだが、現状では同じ方が何十冊も出してきて偏りがある。10冊が少ないかもしれないが、広く出していきたいという思いはある。

議長 平等性ということもあるか。

委員 今は上限があるから何十冊も出してくるのはあり得ないと思うが、10冊では市民のニーズを取り込めないと思うので、広くとらえて選書で判断すればいいと思うがいかかがか。

議長 今10冊を超えて希望を出す方はいるのか。

事務局 実際には、自分でカウントしているわけではないので、リクエストを受けた時点で判明することがある。以前枠が無かった時には、かなり集中して出してこられる方があり、同じ傾向の本であった。市民の平等という視点では、広く周知をしていくことを考えたいが、一人10冊の上限は今までの

経験から設定されてきたものであり、意見をいただく中で今後の経験値に活かしていくということでご理解いただきたい。

委員 一人10冊に限るということは枠として大事なことだと思うが、新聞の書評というようなものを利用するのは推薦書というような枠で考えていただけないか。

委員 関連してほしい。図書館協議会の委員としての立場で、図書館の充実のために出すのも10冊ということになるか。

事務局 リクエストとしての扱いは、新聞の書評欄等で既に購入を決定しているものはリクエスト件数には入れてないので、実際のリクエストの数は記録されているものよりはるかに多いものとなっている。また、情報として新聞の切り抜きなどを持参される方もおり、現場では柔軟な対応をさせていただいている。

図書館協議会の委員でもリクエストという形は一般利用者と同じだが、蔵書の参考にとということであれば上限無く選書の対象とさせていただく。

議長 以上で本日予定した内容については全て終了したので、協議事項について閉じさせていただく。

以上